

経済・金融
フラッシュユーロ圏失業率(2025年3月)
ー失業率は6.2%で横ばい推移

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

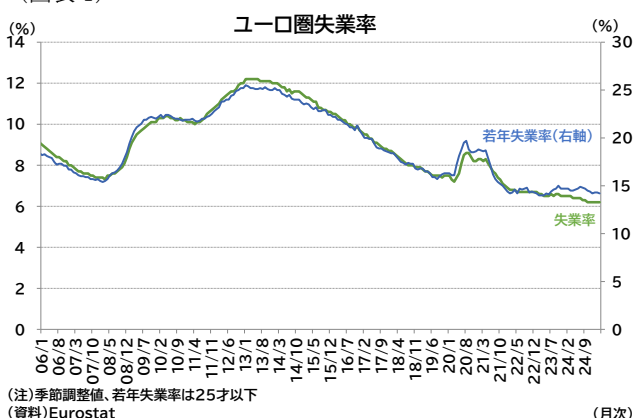
1. 結果の概要:失業率は6.2%で横ばい推移

5月2日、欧州委員会統計局（Eurostat）はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

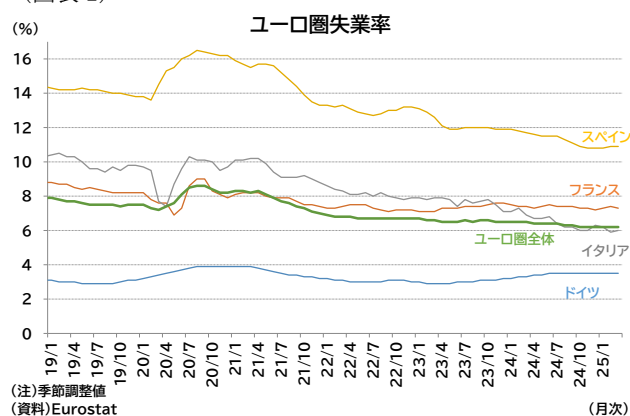
【ユーロ圏失業率（20か国、2025年3月、季節調整値）】

- ・失業率は6.2%、市場予想¹（6.1%）から上振れ、前月（6.2%）と同じだった（図表1・2）
- ・失業者は1081.8万人となり、前月（1073.5万人）から8.3万人増加した

(図表 1)



(図表 2)



2. 結果の詳細:失業者数は基調的には増加傾向と見られる

ユーロ圏（20か国）の3月の失業率は6.2%となり、2月（6.2%）から横ばいとなった。なお、2月の数値は、前月公表時は6.1%で統計データ公表以来の最低値を更新した形となったが、今回の公表ではやや悪化方向に改定された（6.1%→6.2%、1月以前のデータは変更なし）。

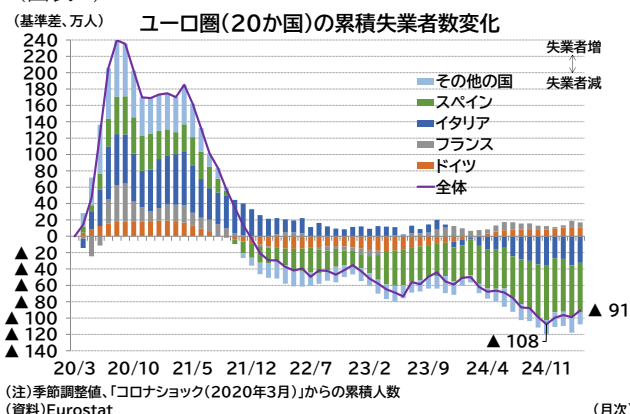
失業者数は3月の前月差で8.3万人増加した。主要4か国で見ると、フランス（▲1.7万人）、ドイツ（▲0.2万人）が減少、スペイン（2.4万人）、イタリア（3.2万人）が増加した。失業者数はコロナ禍前より91万人少なく、スペイン（コロナ禍前比▲61万人）が大きく、次いでイタリア（同▲33万人）も減少に寄与している（図表3）が、3月はこれらの国の失業者が増加した。なお、失業者数は、2月には減少しているが、基調的には24年12月以降は増加傾向にあると見られる。

3月の若年失業率は14.2%となり、2月（14.3%）から若干低下した。なお、若年失業率も過去データがやや悪化方向に修正されている（2月14.2%→14.3%、1月14.1%→14.3%など）。若年

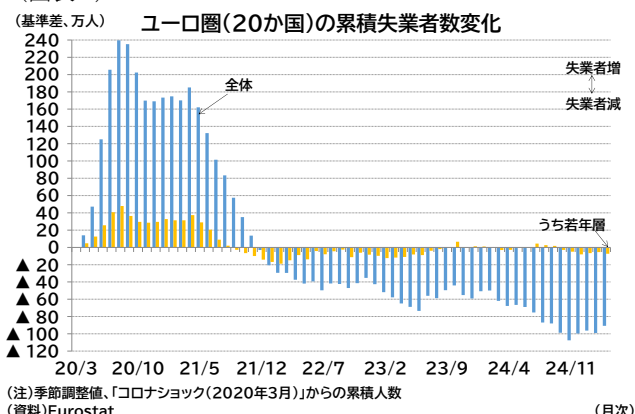
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

失業者数は3月で226.5万人（前月差▲1.3万人）と減少し、若年失業者数の水準はコロナショック直前（20年3月の233.8万人）を下回っている（図表4）。

（図表3）

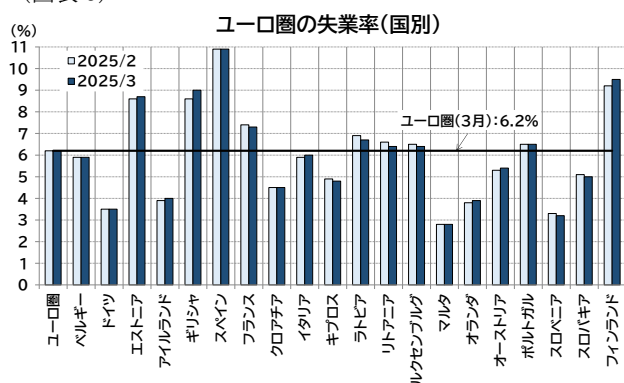


（図表4）



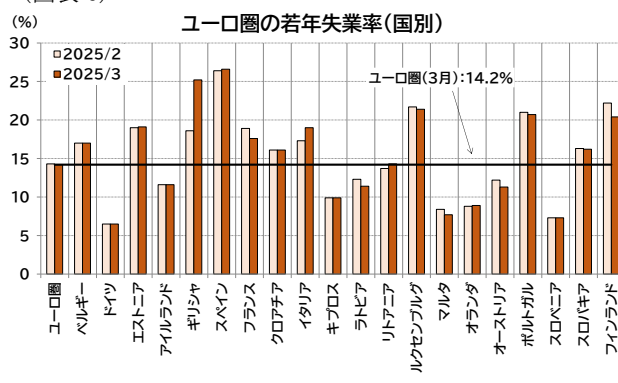
国別の3月のデータを見ると、失業率は20か国中、悪化した国が7か国、改善が7か国、横ばいが6か国だった（図表5）。若年失業率は、悪化した国が6か国、改善が8か国、横ばいが6か国だった（図表6）。

（図表5）



(資料)Eurostat

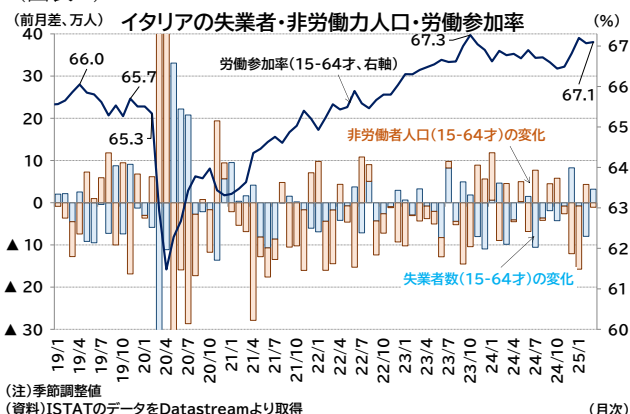
（図表6）



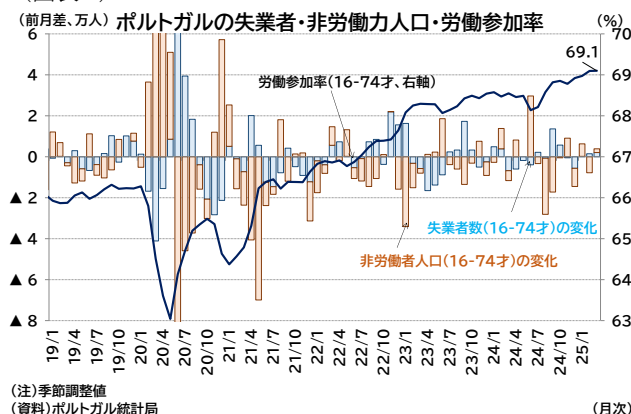
(資料)Eurostat

最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者が増加し、就業者と非労働力人口が減少した（図表7）。ポルトガルは就業者と失業者、非労働力人口がいずれも増加する形となった（図表8）。労働参加率はイタリアとポルトガルの両国で上昇、イタリアの労働参加率はコロナ禍以降の最高水準付近にあり、ポルトガルではコロナ禍以降の最高値を更新した。

（図表7）



（図表8）



本資料記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と完全性を保証するものではありません。また、本資料は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。